

後藤 甚吉さん

(清見台)



公園をきれいにしホッと息

清見台に住んで25年、その間たまたま自治会の福祉厚生担当のリーダーになり「清見台の夏祭り」の運営に関わったことから、「清見台のまち」に興味があり、「我がまちをきれいにしたい」と、まずはゴミ拾いのボランティアを始めることになったそうです。

毎朝散歩しながらゴミ拾い

60歳を過ぎた多くの方が「健康で長生き出来たらいいなあ」と、思いながら生活されているのではないのでしょうか。清見台に住んでいる後藤甚吉(ごとう・じんきち)さん(78歳)は、バス通りの清掃や小学生の登校時の見守り、ホテルの幼虫をふ化させるなど、地域では存在感があり、イキイキとした毎日を送っています。

拾いしたり、バス停の灰皿を掃除したりを毎朝約15年間。川上小学校の児童の登校時での見守りも毎朝約12年間続けています。週に1

「我がまちをきれいにしたい」

活動は健康のため

後藤さんは「活動は自分の健康のためにしているのですが、バス通りがきれいになり気持ちいいし、出会う人からお礼を言われたり、小学校を卒業した子から挨拶されたり、話しかけられたりすると正直とてもうれしいです」。

定年後に始めた植木剪定の仕事も「おかげさまで元



毎朝、校門の前に立って子どもの登校を見守る後藤さん

回でも大変なのに毎朝続けるとはすごいことです。また、ホテルの会に入会

し、子どもたちと幼虫をふ化させ川に放流する活動などを約7年間も続けられています。「活動を通して子どもたちからももらったお礼の手紙や、身体の不自由な人たちをホテル観賞会に招待し、掌にホテルを載せてあげた折の彼らにとびっきりの笑顔に、とても幸せを感じました」と満面の笑顔で語ってくれたことがとても印象的でした。



道路のゴミを拾う後藤さん

気に現役を続けています」と謙遜しながら話してくれ

ました。今後、小学生の見守り隊の参加者が増えることを願いながら、仕事や活動が長く続けられるように、

- ① 「イキイキ健康体操」をする
- ② 力いっぱい腕の上げ伸ばしを50回
- ③ エスカレーターに乗らず、階段を使う
- ④ 食事はしっかりと食べる

特に朝食は沢山食べるなど、これまで同様に毎日頑張るそうです。

今一番の楽しみは、奥さんとの旅行で、上高地を歩く、孫とデイズニerlandに行く予定だそうです(掲載時には両方とも実行済みでしょう)。家族サーピスもしっかり考えておられます。

後藤さんは背筋がピンとして頑丈な体つき、肌もつやつやしていて78歳とはとても見えないほど若々しいです！取材させてもらった私も、後藤さんから元気の素をいっぱい頂きました。

(松下 朝子)